

屋久島国立公園（仮称）

指 定 書  
及 び  
公 園 計 画 書

（環境省原案）

平成 年 月 日

環 境 省



# 屋久島国立公園（仮称）

## 指 定 書 （環境省原案）



## 目 次

1 指定理由	4
2 地域の概要	4
(1) 景観の特性	4
ア 地形、地質	4
イ 植生	5
ウ 野生動物	5
エ 自然現象	6
オ 人文その他の特殊景観	6
(2) 利用の現況	6
(3) 社会経済的背景	7
ア 土地所有別	7
イ 人口及び産業	7
ウ 権利制限関係	8
3 公園区域	11

## 1 指定理由

霧島屋久国立公園屋久島地域は、九州本島最南端の佐多岬から南南西約60kmの海上に位置する屋久島（周囲約132km、面積約504km<sup>2</sup>）の一部と屋久島の西北西約12kmに位置する口永良部島（周囲約50km、面積約36km<sup>2</sup>）からなる。

本地域は、昭和39年3月16日に霧島国立公園（昭和9年3月16日指定）へ追加指定されたのを始めとして、その後、昭和50年5月17日に、花山地区が原生自然環境保全地域に指定されるのに伴い公園区域が変更され、昭和58年1月14日に瀬切川右岸上流域等の屋久島西部地域の区域拡張が行われた。平成14年2月19日に公園区域及び公園計画の全体的な見直し（再検討）が行われて、海域公園の指定や永田浜等における区域拡張等がなされ、平成19年3月30日に口永良部島の追加指定（一部変更）が行われた。

屋久島地区は、九州最高峰である宮之浦岳（1,936m）や黒味岳（1,831m）などを擁し、その山岳景観により洋上アルプスとも呼ばれている。亜熱帯性植物を含む海岸植生、山地の温帯雨林から山頂付近の冷温帯性ササ草地や高層湿原に及ぶ植生帯の垂直分布の連続性を保持していること、樹齢千年を超える屋久杉天然林が作り出す原生的な自然景観を有していることについて傑出した自然的価値が認められたことから、平成5年12月には、白神山地とともに日本初の世界自然遺産地域として登録された。海岸線及び沿岸海域においても、ウミガメの産卵地やサンゴ群集、魚類の宝庫として、その価値が高く評価されており、平成17年11月には永田浜が北太平洋最大のアカウミガメの産卵地として、ラムサール条約湿地に登録されている。

一方、口永良部島地区は、東西2つの火山体が結合された火山島であり、東部には、新規火山群である新岳・古岳などの円錐状火山が並び、その周辺は多くの噴気孔や割れ目火口、火山跡の野池など特異な火山景観となっている。また、海岸部には切り立った海食崖や海食洞窟、洞穴など変化に富んだ地形を有するとともに、多様性豊かなサンゴ群集生態系による優れた海中景観を有する。

今般、我が国随一の海域カルデラを有する錦江湾の再評価を行い（国立・国定公園総点検事業（平成22年10月、環境省公表）及び霧島屋久国立公園錦江湾地域戦略的運営プログラム（平成22年3月、九州地方環境事務所策定））、始良カルデラの相当部分を新たに公園区域に指定し、霧島地域及び錦江湾地域を、火山活動を起源とする景観を主要構成要素とする霧島錦江湾国立公園（仮称）として再編成することとした。これに伴い、島嶼生態系を景観の主要構成要素とし、自然環境及び利用状況の面で特質が異なる屋久島地域を分離し、屋久島国立公園（仮称）として新たに一つの国立公園に指定し、当該地域の風致景観の維持と適正な利用の推進を図るものである。

## 2 地域の概要

### （1）景観の特性

#### ア 地形、地質

屋久島は、島の中央部に九州最高峰の宮之浦岳（1,936m）を主峰として1,000mを超える山岳が45以上連座している。これらの山々は花崗岩からなり、特に山頂部は風化を受けた花崗岩の奇岩が露出する特徴的な景観を呈している。南部にある千尋滝の一枚岩やモッチョム岳も、この花崗岩か

らなる。平地では温暖多雨の気候で、平野部の降水量は4,000mmを越え、山頂部の降水量は年間10,000mmを超えると推測される。この多量の降雨が、多数の河川となり、花崗岩の岩盤に深い谷を刻んでいる。一方、海岸部の大部分は堆積岩を基盤としており、南西部にある大川の滝の岩盤は、堆積岩がマグマの熱で変化したホルンフェルスと呼ばれる変成岩である。また、東部の田代海岸では、マグマが海水に触れてチューブ状に固まった枕状溶岩が見られる。さらに、屋久島では麓から山頂までの地表面のすぐ下に、約7,300年前に屋久島北方40kmの海にある鬼界カルデラが大噴火した際の噴出物が堆積しており、幸屋火砕流堆積物と呼ばれている。

口永良部島は、新旧二つの火山群が結合したひょうたん型の火山島であり、主に安山岩や火山灰からなる。東部の新期火山群地域には新岳及び古岳（標高657m）など現在まで活動を続ける円錐状火山を有し、その周辺には多くの噴気孔や割れ目火口、火口跡などがあり、特徴的な火山景観を形成している。

## イ 植 生

屋久島の植物相については、海岸付近のアコウ等の亜熱帯性植物を含むシイ類、カシ類を主体とした暖温帯植生から、ヤクシマダケ、ヤクシマシャクナゲ、ミズゴケ等の亜高山性植物を含むスギ、モミ、ツガ、ヤマグルマ等の冷温帯植生に至る多様な植生の垂直分布が顕著に見られる。また、樹齢数千年に及ぶとされる巨大なヤクスギを含む屋久島固有の林相を呈する原生的な天然林など、本土とは異なる特異な森林植生を有している。さらに、地理的特性から、固有種等を含む1,900種以上の種が分布しており、ヤクシマシャクナゲ等の固有植物94種、分布の南限種は200種以上、北限種も多数確認されている。また、本土の自然植生に通常見られるブナなどの冷温帯性落葉広葉樹林が欠如していることや、面積の小さい島にもかかわらず蘚苔類が600種に及ぶなど本土とは大きく異なった生態を有しており本地区を特徴づけている。

一方、口永良部島の植物相は、海洋性の暖温帯気候下にあるため、潜在自然植生はスダジイ、タブなどの常緑広葉樹とされているが、火山活動の影響や人為的な影響を受け、山頂付近にマルバサツキ等の火山荒原植生、その周辺にスダジイ等の照葉樹林が成立している他、島の大部分はリュウキュウチクに覆われている。120科557種の高等植物の分布が確認されており、希少種としては、環境省レッドデータブック絶滅危惧 I B類であるナンゴクカモメヅル、オオツルコウジ、キリシマエビネ、タネガシマムヨウランなどが確認されている。こうした火山地形に広がる緑の景観から「緑の火山島」とも呼ばれ、本地区を特徴づけている。

## ウ 野生動物

屋久島の動物相については、九州本土から切り離されて以来、15,000年に及ぶ歴史と変化に富む植生からなる原生性豊かな生息環境が、多くの屋久島固有の亜種を生み出してきた。

哺乳類では、ヤクシカ、ヤクシマザルなど4種の固有亜種を含む16種が確認されている。鳥類は、アカヒゲ等3種の固有亜種を含む約170種が知られており、また、このうちアカヒゲ、カラスバト等4種が天然記念物に指定されている。この他、は虫類が15種、両生類が8種、昆虫類が約1,900種

確認されるなど、屋久島の動物相は、面積の小さい島としては極めて豊富であり特徴的である。

一方、口永良部島の動物相については、環境省レッドデータブック絶滅危惧ⅠA類で国の天然記念物にも指定されているエラブオオコウモリを含む12種の哺乳類が確認されている。このうち、ヤクシマザルは近年島外から持ち込まれた移入種であり、現在10頭程度が目撃されている。鳥類は、国の天然記念物に指定されているカラスバトを含む48種が確認されており、は虫類が5種、両生類が1種、昆虫類が169種確認されている。貝類は、口永良部島の固有種であるヌメクビムシオイを含む152種が確認されている。

## エ 自然現象

太平洋側気候区の南端部にあつて、亜熱帯性気候の南西諸島気候区と接しており、海岸部に亜熱帯的気候がみられる。世界屈指の大きな海流である黒潮の影響により、気温は温暖多雨である。

屋久島の8月の平均最高気温は約30℃で、1月の平均最低気温が8～9℃である。年間降水量は、平野部で4,000mmを超え、山岳地帯では8,000～10,000mmにも達する。島の中央部に九州最高峰の宮之浦岳(1,935m)を有するため、山頂付近では12月から3月までの平均気温が-5℃以下となることもあり、積雪も見られる。海岸部の平野から奥岳までの標高差が大きいことから、亜熱帯から冷温帯の気候を有している。

屋久島では南部の沿岸部を中心に、口永良部島では東部の新期火山群地域の沿岸部に複数の温泉が湧出している。

## オ 人文その他の特殊景観

屋久島は、原生的な森林景観を特徴とするが、昭和30年代には、屋久杉の大面積の伐採が進んだ。特に皆伐が進んだ小杉谷集落は昭和45年には閉山に至り、現在では、小杉谷の集落・学校跡と、平成22年まで土埋木の搬出に使われていた森林軌道が、当時の面影を残している。

一方、口永良部島においては、古岳火口及び登山道沿いに、昭和30年代までに行われた硫黄の採掘跡や牛馬が通った石組みの旧道跡等が残されている。

## (2) 利用の現況

屋久島は、九州本島最南端から南南西約60km離れた島で、利用者は主に鹿児島県から貨客フェリー、高速船及び飛行機のいずれかで来島する。昭和46年にフェリーが、昭和50年に屋久島空港における1500m滑走路の完成以来飛行機が、そして平成元年に高速船が就航している。口永良部島は、屋久島から1日1往復運行するフェリーが唯一の公共交通機関である。

利用形態は、屋久島においては、屋久杉、森林、滝、溪谷観賞等を目的とした自然探勝や登山が多く、夏季には、海水浴、リバーカヤック・カヌー、スキューバダイビング等の利用も見られ、民間のエコツアーや山岳ガイドを利用したツアーが定着している。また、南部の沿岸にある海中温泉等の温泉の利用も見られる。口永良部島においては、古岳登山、海岸部での釣り、タイドプールでの磯遊び、沿岸域でのシュノーケリング・スキューバダイビングといった野外レクリエーションのほか、火山島

ならではの良好な泉質をもつ島内4箇所にある温泉利用が主である。

屋久島では、平成元年の高速船の就航をきっかけに入島者が増加し、昭和63年から平成9年までの10年間で入島者数は約2.1倍となり、その後の10年間でさらに約1.4倍増加し、平成19年に約40万人に達した後、近年はやや減少傾向にある。山岳部における登山利用では、縄文杉を目的地とするルート（荒川登山口・白谷雲水峡～縄文杉）の利用者が最も多く、当ルートの登山者数は平成12年からの10年間で約3倍に増加し、近年は9万人前後で推移している。次いで、宮之浦岳や黒味岳を目的地とするルート（淀川登山口～宮之浦岳・黒味岳）が多く、平成12年からの10年間の登山者は1.5万人前後で推移している。縦走ルートでは、淀川登山口から花之江河、宮之浦岳、縄文杉、荒川登山口を1泊で縦走するルート、もしくはその逆ルートの利用が多い。特にゴールデンウィークなどの連休時や夏季には、これらの区間に利用者が集中する傾向が見られる。

本公園の利用拠点は、屋久杉を中心とする森林観賞としてはヤクスギランドや白谷雲水峡などの自然休養林、滝の観賞として、千尋滝、大川の滝など、海岸部においては、ウミガメが産卵する砂浜として有名な永田浜、枕状溶岩が見られる田代海岸、造礁サンゴ群集が見られる栗生沿岸等が挙げられる。また、西部地域の特別保護地区内を通過し、照葉樹林の中で間近にヤクシカやヤクシマザルの観察ができる西部林道の利用も多く見られる。国立公園を取り巻く島内の交通幹線上の要点である宮之浦、安房、小瀬田、尾之間、永田等の周辺集落が登山等レクリエーションの基地となっている。平成21年度の年間入島者数は、屋久島が350,696人、口永良部島が2,613人となっている。

### (3) 社会経済的背景

#### ア 土地所有別

本公園は、国有地21,152ha、公有地724ha、私有地2,690haであり、他の国立公園と比較しても、圧倒的に国有地の公園全体に占める割合が大きい。

#### イ 人口及び産業

本公園は、鹿児島県熊毛郡屋久島町に所在する。本公園区域内の居住人口についての統計はないが、屋久島町の人口は、13,796人（H23.1.31現在）である。

産業としては、昭和60年以降、第3次産業が増加しており、観光業を主とするサービス業が中心である。平成17年度の産業別就業者数をみると、最も多いのが卸売・小売業、次いで飲食店・宿泊業、建設業、サービス事業、農業となる。農業については、温暖な気候を活かし、ポンカン・タンカン等の果樹を中心に、馬鈴薯等の野菜、米、茶、花卉、家庭用胃腸薬の原料となるガジュツ等の生産が行われている。林業としては、人工林を主体として実施されている。樹齢1,000年以上のヤクスギの伐採は現在行われておらず、土埋木（昔に伐採された屋久杉の切り株や倒木）が計画的に搬出されており、土埋木は美しい木目を生かした工芸品として加工されている。漁業としては、トビウオ、サバ、カツオ、アサヒガニ、イセエビ、トコブシ等の漁や、近年ではクルマエビ等の養殖が行われている。観光客の利用施設として、宮之浦、安房、尾之間、永田等では、ホテル、民宿、売店等が営まれている。

ウ 権利権限関係

(ア) 保安林

(国有林)

種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
水源かん養	鹿児島県熊毛郡屋久島町内 国有林屋久島森林管理署	17,892	昭 58. 4. 30
			昭 58. 12. 13
			平 2. 7. 17
			平 4. 5. 28
			平 17. 3. 1
			平 17. 3. 24
			平 17. 3. 31
土砂流出防備	鹿児島県熊毛郡屋久島町内 国有林屋久島森林管理署	1,009	昭 55. 12. 13
			昭 47. 7. 25
潮害防備	鹿児島県熊毛郡屋久島町内 国有林屋久島森林管理署	44	昭 46. 3. 22
			昭 46. 3. 22
保健	鹿児島県熊毛郡屋久島町内 国有林屋久島森林管理署	1,001	昭 54. 11. 13
			平 17. 3. 24
			平 17. 5. 19

※面積は図面計測による概算。

(公有林)

種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
防風	鹿児島県熊毛郡屋久島町永田 鹿児島県熊毛郡屋久島町栗生	7	昭 6. 5. 13
			不 明
土砂流出防備	鹿児島県熊毛郡屋久島町口永良部島	233	昭 47. 7. 25
			平 7. 7. 27
			平 19. 1. 5
			平 20. 3. 14
土砂崩壊防備	鹿児島県熊毛郡屋久島町口永良部島	1	平 16. 5. 21
風致	鹿児島県熊毛郡屋久島町口永良部島	228	平 20. 3. 28

※面積は図面計測による概算。

(民有林)

種類	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
水源かん養	鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間	0 (0.4)	—
土砂流出防備	鹿児島県熊毛郡屋久島町口永良部島 鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間	87	昭 47. 7. 25 昭 53. 9. 25 昭 61. 5. 10 平 7. 7. 27 平 11. 11. 24 平 19. 1. 5 平 19. 8. 7 平 21. 9. 4
土砂崩壊防備	鹿児島県熊毛郡屋久島町口永良部島	1	平 7. 11. 27 平 16. 6. 25

※面積は図面上の計測による概算である。

## (イ) 鳥獣保護区（県指定）

名称	位置	重複面積 (ha)	指定年月日
小杉谷鳥獣保護区	鹿児島県熊毛郡屋久島町	474	昭 48. 11. 1
宮之浦岳鳥獣保護区 特別保護地区	鹿児島県熊毛郡屋久島町	498	昭 48. 11. 1
荒川鳥獣保護区	鹿児島県熊毛郡屋久島町	349	昭 48. 11. 1
国割岳鳥獣保護区 特別保護地区	鹿児島県熊毛郡屋久島町	711	昭 59. 11. 1
白谷鳥獣保護区	鹿児島県熊毛郡屋久島町	404	昭 59. 11. 1
花之江河鳥獣保護区	鹿児島県熊毛郡屋久島町	936	昭 59. 11. 1
口永良部島鳥獣保護区	鹿児島県熊毛郡屋久島町	3,512	平 1. 11. 1

## (ウ) 史跡名勝天然記念物

区分	名称	位置	指定年月日
国指定特別天然記念物	屋久島スギ原始林	鹿児島県熊毛郡屋久島町	昭 29. 3. 20
国指定天然記念物	アカヒゲ	南西諸島（喜界島、与論島、沖永良部島を除く）	昭 45. 1. 23
	オカヤドカリ	南西諸島など	昭 45. 1. 23
	カラスバト	南西諸島など	昭 46. 5. 19
	アカッコ	屋久島	昭 50. 2. 13
	エラブオオコウモリ	口永良部島、トカラ列島など	昭 50. 2. 13
	イイジマムシクイ	屋久島	昭 50. 6. 26
町指定天然記念物	スナヅル	屋久島町栗生	昭 45. 11. 16
	ツキイゲ	屋久島町栗生	昭 45. 11. 16
	ウミガメとタマゴ	屋久島町栗生海岸	昭 46. 5. 24
	キイレツチトリモチ	屋久島町尾之間	昭 48. 3. 8
	オオタニワタリ	屋久島町湯泊・尾之間	平 19. 3. 23

### 3 公園区域

公園区域は次のとおりである。

(表 1 : 公園区域表)

都道府県名	区 域	面 積 (ha)												
鹿児島県	<p>熊毛郡屋久島町内</p> <p>国有林屋久島森林管理署 1 林班から 8 林班まで、13 林班、22 林班、23 林班、31 林班、45 林班、50 林班から 63 林班まで、75 林班から 101 林班まで、103 林班から 108 林班まで、112 林班、213 林班から 215 林班まで、220 林班から 222 林班まで、225 林班、228 林班から 232 林班まで及び 263 林班から 271 林班までの全部並びに 9 林班、12 林班、14 林班、15 林班、17 林班から 19 林班まで、24 林班、26 林班から 30 林班まで、32 林班、38 林班、47 林班、65 林班、102 林班、111 林班、204 林班から 206 林班まで、212 林班、274 林班及び 275 林班の各一部</p> <p style="text-align: right;">(国 20,272)</p> <p>熊毛郡屋久島町</p> <p>口永良部島の全部及びその地先海面並びに永田、宮之浦、安房、尾之間、栗生、中間及び船行の各一部</p>	<p style="text-align: right;">24,566</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">国</td> <td style="padding: 0 5px;">21,152</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">公</td> <td style="padding: 0 5px;">724</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">私</td> <td style="padding: 0 5px;">2,690</td> </tr> </table> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto; margin-top: 20px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">国</td> <td style="padding: 0 5px;">880</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">公</td> <td style="padding: 0 5px;">724</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">私</td> <td style="padding: 0 5px;">2,690</td> </tr> </table>	国	21,152	公	724	私	2,690	国	880	公	724	私	2,690
国	21,152													
公	724													
私	2,690													
国	880													
公	724													
私	2,690													

